

2017年、人気の高かった駅・沿線ランキング[賃貸/首都圏編]

人気駅トップ3は、「赤羽駅」、「荻窪駅」、「武蔵小杉駅」。
 変わらぬ人気の「JR 山手線」！ バランス重視の「東急目黒線」も上位に

この度、株式会社オウチーノ(本社:東京都港区/代表取締役社長:堀口育代/証券コード:6084)は、住宅・不動産サイト「オウチーノ」の、2017年1月1日から2017年12月31日のアクセス数をもとに、「2017年、人気の高かった駅・沿線ランキング[賃貸/首都圏編]」を作成した。

結果、首都圏の人気駅第1位は、「赤羽駅」、次いで「荻窪駅」、「武蔵小杉駅」が続いた。沿線ランキングは、不動の人気を誇る「JR 山手線」が第1位、大躍進の「東急目黒線」が第2位にランクインした。

■調査概要

調査方法 「オウチーノ」賃貸サイトの、各駅・沿線ページのアクセス数が多い順にランク付けした。

調査期間 2017年1月1日～2017年12月31日

1. 人気駅トップ3は、「赤羽駅」、「荻窪駅」、「武蔵小杉駅」。

2016年圏外だった「吉祥寺駅」が復活！

第3位は、神奈川県で唯一ランクインした「武蔵小杉駅」。

都心へのアクセスも良好で、広々とした駅前にはタワーマンションの建設や新しい小学校が作られるなど開発が進み、ますます便利に。一方で、住宅地に足を踏み入れれば緑豊かな公園が点在するなど、バランスの良さを享受できます。川崎市は、待機児童ゼロに取り組むなど子育てしやすい環境も整っており、幅広い世代から愛される街です。

第2位は「荻窪駅」。

新宿や吉祥寺にもアクセスしやすい JR 中央線に加え、東京メトロ丸ノ内線の始発駅という点も大きなポイント。朝のラッシュ時でも、新宿や霞ヶ関、大手町方面へ座って通勤することができます。駅周辺には名高いラーメン店やカフェなど、グルメが豊富に揃っているのも魅力です。

そして第1位に輝いたのは「赤羽駅」。

JR 埼京線、京浜東北線など、6路線が利用できる利便性を保ちつつ、家賃の面では比較的抑えられるという住みやすさが人気の理由のひとつ。

赤ちょうちんが灯る昔ながらの居酒屋からおしゃれなワインバルまで、グルメスポットとしても有名な赤羽。2017年4月に

1位	赤羽駅
2位	荻窪駅
3位	武蔵小杉駅
4位	池袋駅
5位	北千住駅
6位	目黒駅
7位	三軒茶屋駅
8位	吉祥寺駅
9位	三鷹駅
10位	蕨駅

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■

株式会社 オウチーノ(ユムーノ編集室/池田) 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-5

<TEL:03(5776)1746 FAX:03(5776)1747 E-MAIL:soken@o-uccino.jp>

東洋大学の赤羽台キャンパスが開校されたことなどもあり、若年層からも人気を集めています。

その他、“便利な穴場”と近年注目されている「北千住駅」は第5位、2016年は圏外というサプライズを見せた「吉祥寺駅」も、2017年は第8位まで回復。

埼玉県から唯一、第10位にランクインしたJR京浜東北線の「蕨駅」は、「浦和駅」や「大宮駅」の県内のターミナル駅や、都内へのアクセスも良好で、家賃相場が抑えられている点が注目されたようです。

2. 変わらぬ人気の「JR 山手線」！ バランス重視の「東急目黒線」も上位に

沿線ランキング第3位は、根強い人気の「JR 中央線」です。

人気駅ランキングでも「荻窪駅」、「吉祥寺駅」、「三鷹駅」と沿線から3駅がランクイン。それぞれの駅に個性があり発展しているので、新宿などの都心に行かなくてもショッピングやグルメが楽しめます。沿線には、「明治大学」や「成蹊大学」などの学校も多数存在し、一人暮らしをはじめ賃貸でのニーズが高い路線です。

第2位に浮上するサプライズを見せたのは、2016年はランキング圏外だった「東急目黒線」。

「目黒駅」と「日吉駅」を結ぶ「東急目黒線」は、大きな商店街があり買い物も便利な「武蔵小山駅」や、子育て世代から絶大な支持を得る「武蔵小杉駅」などを擁する路線。都心から近いうえ、人情味のある庶民的な駅も多く、穴場な路線として密かに注目を集め、第2位に踊り出る結果となりました。

そして第1位は、不動の人気を誇る「JR 山手線」。

意外にも人気駅ランキングでは、山手線からは第5位の「目黒駅」しかランクインしていません。「駅にはこだわらないけれど、とにかく便利な山手線沿線に住みたい」と考える方が、アクセス数を伸ばす結果になったようです。まずは「JR 山手線」から探すという流れはまだまだ衰えそうにありません。

その他、第5位にはランキング常連の「東急東横線」も。「東京メトロ副都心線」や「西武池袋線」との直通運転により、埼玉方面へも快適にアクセスでき、高いブランド力を維持しています。2016年は5位まで浮上した「都営大江戸線」は10位にランクダウンとなりましたが、「勝どき駅」など、2020年の東京オリンピックに向けた再開発が進む駅も多いエリアで、依然として注目されています。

1位	山手線
2位	東急目黒線
3位	中央線
4位	京王線
5位	東急東横線
6位	小田急線
7位	丸ノ内線
8位	京浜東北線
9位	東西線
10位	都営大江戸線

オウチーノ de ヨムーノ: <http://www.o-uccino.jp/article/archive/ie/20180131-chintaibest10/>